

市民参加による自治体産業政策 実践事例：産業振興ビジョンと産業振興会議

— 埼玉県上尾市の取組み —

2021年7月16日（金）
河 藤 佳 彦

出典：河藤佳彦『市民による自治体産業政策』同友館、2019年、第Ⅴ章

1

1. 報告のねらい

2

- ▶ 市民参加による自治体産業政策の実践事例としての埼玉県上尾市。
- ▶ **上尾市の優位性**
 - ① 東京都心部に近く幹線道路や鉄道などの交通基盤が充実。
⇒ 物流や通勤・通学など人の移動性に優れている。
 - ② 大都市近郊に位置し、都市近郊農業や食品加工業に適している。
 - ③ 大小多くの公園があり生活に身近な自然に恵まれていること。
- ▶ 産業政策の指針としての『上尾市産業振興ビジョン』を策定（2014年3月）。「上尾市産業振興会議」を設置。



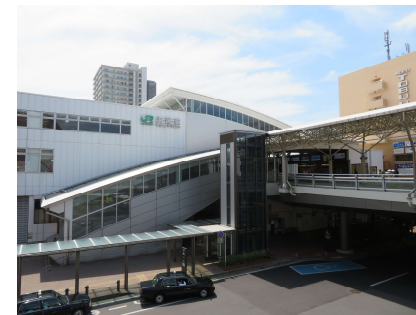
- ① 上尾市の産業の特色を確認
- ② 上尾市の産業政策について概観
- ③ 産業振興会議の活動内容を踏まえた政策評価

上尾市の位置図

3



出典：国土交通省関東地方整備局（<http://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/04data/yellowpage/map/index.htm>、2019年5月12日取得）を基に作成。



JR高崎線上尾駅

4



撮影：河藤佳彦（2019年5月10日）



JR高崎線上尾駅近辺

5



撮影：河藤佳彦（2019年5月10日）



埼玉県立武道館

6

埼玉県立上尾運動公園
陸上競技場

撮影：河藤佳彦（2019年5月10日）

2. 上尾市の産業の特色

7

(1) 上尾市の産業の沿革

- ▶ 上尾百年史編集委員会編『上尾百年史』（上尾市役所、1972年）に基づき概観（出版年の1972年の時点から捉えた沿革）。

【農業】

- ▶ 1972年時点ではすでに、都市近郊農業としての蔬菜生産、施設園芸が展望されていること、さらにはレジャー型農業、直売型農業といった新たな展開が検討されている。

⇒都市近郊農業や都市型農業、また観光振興における農業の役割の重要性が高まっている現在においても新鮮な論点。

【工業】

8

- ▶ 上尾市の在来工業：醸造＞酒・味噌・醤油⇒水質、気候、風土、輸送交通の利便性、大消費地への近接性は食品産業の立地優位性。
- ▶ 上尾町工場誘致条例の制定・施行：1952年（1960年廃止）。
- ▶ 条例施行期間の8年間に大手会社を含む10社が立地。
- ▶ 「工場誘致条例」廃止後も、大手会社をふくむ多くの事業場が進出。



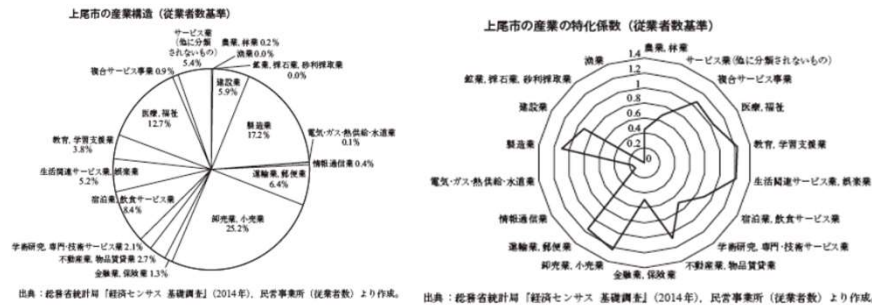
▶ 首都圏整備の観点から交通網の整備強化が図られ利便性が高められたことにより、上尾市の工場立地の優位性が高まっていたことが分かる。

【商業】

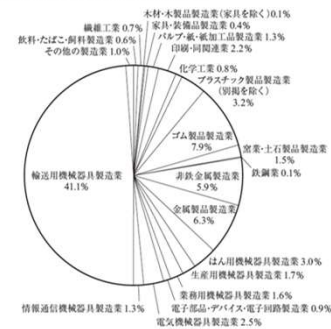
- ▶ 住宅都市としても発展した上尾市において、地域に住む人々、働く人々が増えることにより、人々を支える商業の役割は大きくなっていった。

(2) 上尾市の産業の特色

9



上尾市の製造業の産業構造（従業者数基準）

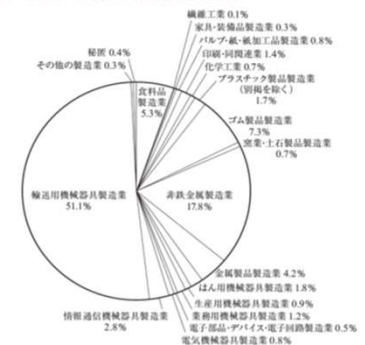


（注）従業員数4人以上の事業所。

出典：経済産業省「工業統計調査」（2014年）より作成。

上尾市の製造業の産業構造（粗付加価値額基準）

10



（注1）樹脂：飲料・たばこ・飼料製造業、木材・木製品製造業（家具を除く）、鉄鋼業の合算値。

（注2）従業員数4人以上の事業所。

出典：経済産業省「工業統計調査」（2014年）より作成。

【観光】

11

- ▶ **大都市近郊の特色を活かした観光**：都会で働く人々の週末の癒し（公園・散歩、買物や食事）
- ▶ 上尾運動公園とその周辺には、地域外から恒常的に多くの人々の来訪を生み出す大規模なスポーツ施設がある。観光視点からの取組みにより、その集客力を、地域経済への波及効果に結びつけるという方策も考えられる。
- ▶ 観光は、旅行業、宿泊業、飲食業、運輸業、製造業（特産品の製造）など多くの産業分野にわたる裾野の広い産業活動によって支えられている。
各地域の個性を活かしながら地域経済の活性化を推進できる。
- ▶ 観光は、地域ブランドとも密接な関係性を持つ。特産品やまちの雰囲気、まちなかの交流スポットの存在、また地域ブランド形成の基盤となる地域独自の文化や歴史なども広く観光資源として捉えることができる。

3. 上尾市産業振興ビジョンの策定

12

- ▶ 産業関係者を中心とする市民参加のビジョン策定委員会により2012年9月から策定が進められた。

（1）産業振興ビジョン策定委員会

- ▶ 構成メンバー：学識経験者（委員長）、上尾商工会議所 副会頭（副委員長）、上尾商工会議所 専務理事、上尾商工会議所 商業観光振興委員会 委員長、上尾商店街連合会 会長、（株）イトーヨーカ堂上尾駅前店 店長、上尾ものづくり協同組合 理事長、上尾商工会議所 工業振興委員会 委員長、あだち野農業協同組合 代表理事組合長、埼玉りそな銀行 上尾支店 支店長、経済産業省関東経済産業局 総務企画部企画課 課長、埼玉県県央地域振興センター 所長、市民公 募委員（2名）、上尾市企画財政部長、上尾市都市整備部長、上尾市環境経済 部長。
- ▶ 工業、商業、農業といった地域産業の各分野の実務関係団体、地域金融機関、関係行政機関、公募市民という構成になっており、全体の取りまとめ役として学識経験者（大学教員）が参加しており、公民連携の態勢が取られている。

(2) 事業者・市民の幅広い意見の反映

13

- ▶ビジョン策定段階：事業者、消費者に対してアンケート調査を実施。
- ▶ビジョン作業部会：策定委員会の委員、地域産業の各分野の実務関係団体の関係者に対し17回のヒアリング調査を実施。
- ▶産業振興ビジョン（案）に対するパブリックコメントを実施。

(3) 考察

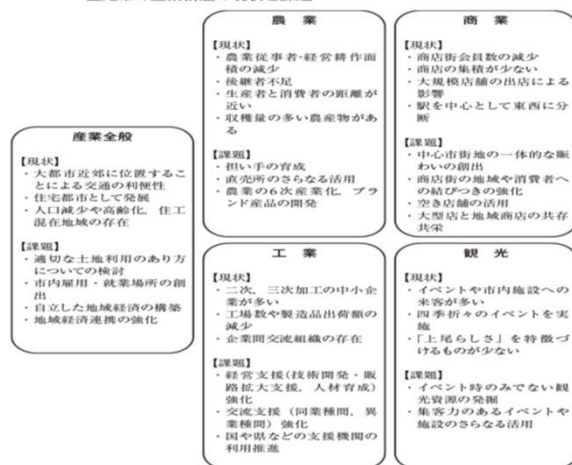
- ▶産業振興ビジョンの策定は、地域の諸主体の参画と協働により進められた。協働の場を設けたのは、自治体行政としての上尾市。協働の場に多様な地域主体の参画を求めたこと、アンケート調査やヒアリング調査を実施したことにより、市民協働の策定を実現した。
- ▶市民協働により策定されたビジョンは、地域の諸主体に共有され易い。
- ▶執行機関である行政、審議機関である議会にとり、政策形成や予算編成の過程における諸判断の際の合理的な拠り所となる。

4. 産業振興ビジョンの要点と特色

14

- ▶上尾市は、策定過程を経て、2014年3月に産業振興ビジョンを策定した。本ビジョンは、「農業・商業・工業・観光」をはじめ、それに関連する様々な分野を「産業」と位置付け、概ね10年間を目途として、市内産業振興における将来像や基本方針、進むべき方向性を示すもの。
- ▶本ビジョンの注目すべき特色：ビジョンの実現に向けた推進体制の構築に重点を置いていること、産業振興に関わる主体の役割を示していること、スターアップ事業を明確に示すことによってアクション・プランとしての性格を明確に打ち出している点。

上尾市の産業構造の現状と課題



15

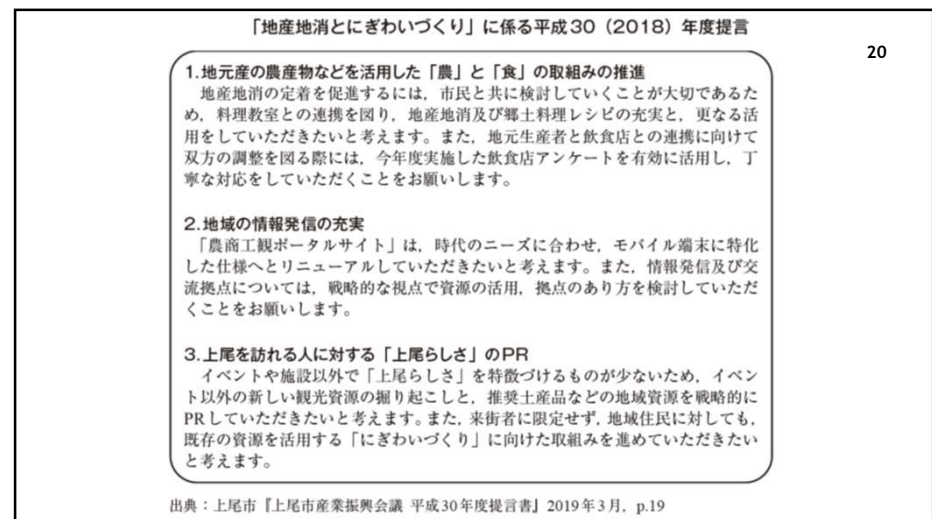
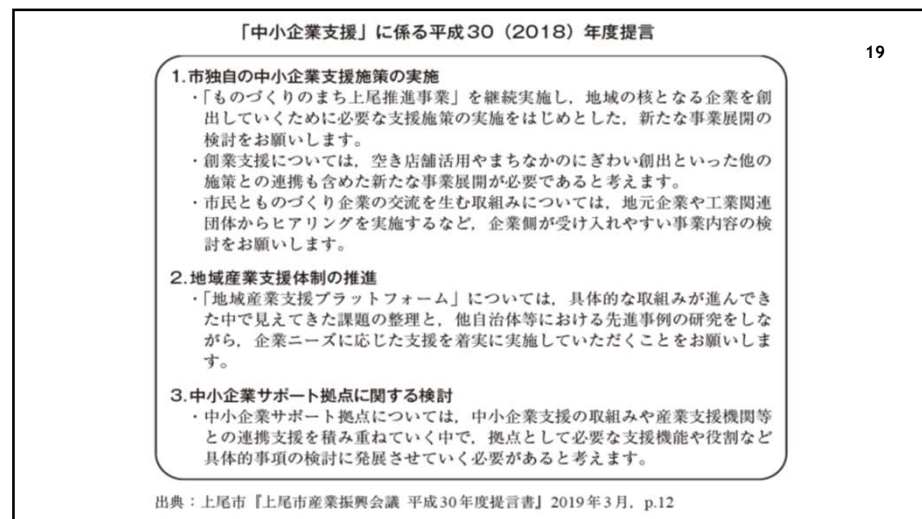
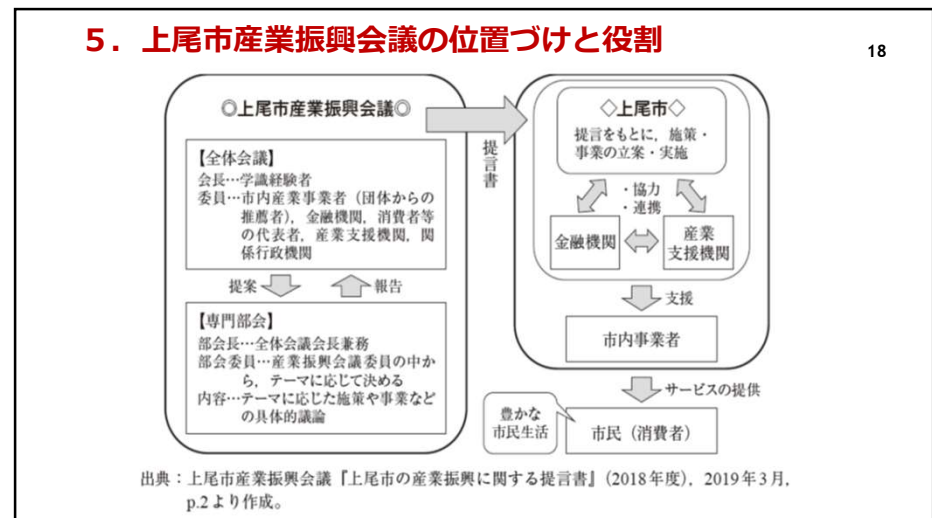
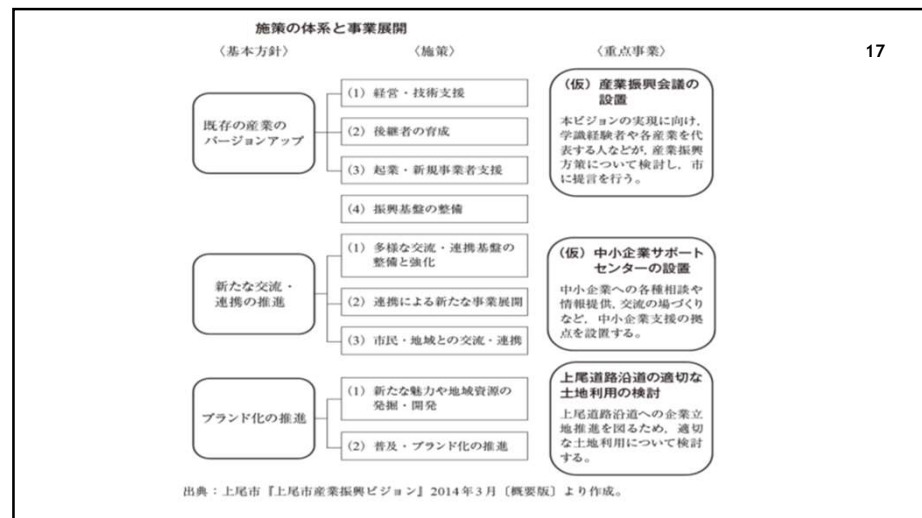
出典：上尾市『上尾市産業振興ビジョン』2014年3月（概要版）より作成。

各産業分野の目指すべき姿

産業	目指すべき姿	内容
農業	消費者への近さを活かしたブランド力のある農業	生産地と消費者が近いという立地を活かして、直売所などの活用や独自の販売ルートを開発し、市場や顧客から強い支持を受けている。また、商業や観光と連携した新たな取組みが行われ、上尾のブランドイメージを作り上げている。遊休農地については、都市近郊農業の特徴を活かした市民農園や体験農園などとして、有効活用されている。
商業	中心市街地でも郊外でも地域と繁栄する商店と商店街	上尾駅を核とした中心市街地は、魅力と一体感をもった取組みを行うことにより、にぎわいを創出している。地域にある商店街や商店は、積極的に魅力の向上に努めるとともに、周辺の地域の実情に応じた商品の提供やサービスを行い、地域コミュニティとの連携を図っている。大型店などは、地域の一員としての自覚を持ち、地域貢献を行うほか、地域の商店街や商店と連携して、共存共栄に向けた取組みを進めている。
工業	高度なもののづくりの伝統と広いネットワークをもつ中小企業と地域と連携する大企業	地域で伝えられてきたもののづくりの技術を磨き上げ、高い競争力・収益力を持った中小企業が多数立地している。これまで培われてきたネットワークをもとに、同業種・異業種間交流、産学官連携などにより、共同研究や共同受注などの自主的な取組みが生まれている。また、技術開発・販路開拓、人材育成も活発になされている。さらに、本社機能を有する大企業が、交通の利便性や災害の少なさなどの都市的環境を持つ上尾に立地し、地元雇用や社会貢献などを行い、地域との連携を図っている。
観光	地域資源を活かしたにぎわいを生む観光	歴史や自然など、上尾市独自の地域資源を活かすとともに、「自転車のまちづくり」などとの連携により、市内外から人が集まり、地域ににぎわいが生まれている。また、食やイベント、土産などにおいて、上尾市ならではのものが創られ、産業の振興や上尾のブランド向上につながる。集客に貢献している。

16

出典：上尾市『上尾市産業振興ビジョン』2014年3月、p.26より作成。



【参考】令和2（2020）年度提言

提言1 市独自の中小企業支援策の強化

必要なニーズを捉え、時勢に合った適切な支援制度の確立と円滑な実施

① 持続・成長・発展に向けた支援

- ・新規サービスの展開、新分野への進出、業態転換など積極的な経営改善に取り組む事業者に対し、集中的・伴走型の支援に努め、事業者の経営力強化を図ること

② IT・デジタル分野への支援

- ・IT・デジタル化を推進する事業者に対し、専門的助言と事業費の負担軽減の両面からの支援に努めること

③ 対象事業の拡大

- ・広告宣伝等の販路拡大に加え、創業・起業から事業承継に向けた支援まで、幅広い分野に向けた支援を検討すること

出典：上尾市『上尾市産業振興会議 令和2年度提言書』2021年3月、p.4

21

提言2（仮）中小企業サポートセンターの実現

関係機関や民間企業と連携し、事業者に寄り添った支援体制の構築や、経営課題に応じてワンストップで支援につなぐコーディネーター機能の確立

① 関係機関との連携

- ・商工会議所をはじめ、国、県及び支援機関等と連携し、すべての事業者（創業・起業を目指す者を含む。）に有益な情報や支援策を速やかに提供できるよう専門家の人選に努めること

② 民間との連携

- ・事業者が求める支援が多岐にわたることを踏まえ、民間企業も含め関係機関との連携範囲を広げ、BCPの策定やDX（デジタルトランスフォーメーション）、事業承継などの支援に努めること

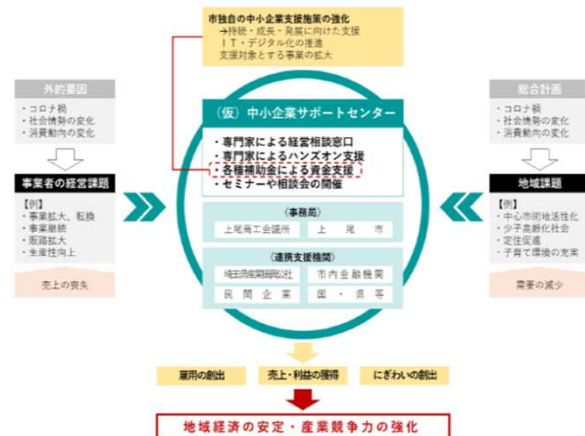
③ ワンストップ機能の強化

- ・事務局には、豊富な経験と高い見識を併せ持つ監督者（マネージャー）を配置すること
- ・また、経営課題に応じた最適な専門家や連携機関へと繋ぐ「コーディネーター」の役割を果たすこと

出典：上尾市『上尾市産業振興会議 令和2年度提言書』2021年3月、p.5

22

サポート体系図（案）



出典：上尾市『上尾市産業振興会議 令和2年度提言書』2021年3月、p.11

23

ご清聴ありがとうございました。

24